

事業者向け 子どもデイサービスダンボ(児童発達支援)自己評価表

(11名/11名)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	4	1	室内はカムダウン室やスヌーズン室もあり、十分な広さがあります。また、グラウンドもあり戸外活動も多く取り入れています。
			55%	36%	9%	
	②	職員の配置数は適切であるか	9	1	1	配置数については、基準以上の人数を確保しています。また、支援に携わる全職員は保育士や児童指導員等の有資格者で、他資格(社会福祉士、介護福祉士、知的障がい者陸上コーチ資格、障がい者スポーツ指導員)を有する職員もいます。
			82%	9%	9%	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	4	1	玄関前までスロープと手すりを設置しているが、入り口に段差があるため職員が手を添え支援を行っています。
			55%	36%	9%	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	3	0	月1回のバンビ・ダンボ会議にて行っています。
			73%	27%	0%	
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11	0	0	今回のアンケートだけでなく、日頃からご家族の意見を聞くように努めています。また、個別支援計画の意向確認用紙にも自由意見の欄を設け、広く意見を伺うようにしています。また、いただいた意見については、職員間で共有して支援に活かしています。
			100%	0%	0%	
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	2	0	法人ホームページにて公開しています。また、事業所評価についてはアンケート集計結果を事業所内に掲示して公開しています。
			82%	18%	0%	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	3	2	第三者による外部評価は受けていませんが、内部監査や県監査の際に助言や指摘を受けた事項については、直ちに改善につなげています。
			55%	27%	18%	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	1	0	各種研修会(Zoom含む)や職場内研修等に参加しています。また、サービスマナースピーチやサービス向上グループワークにも取り組み、情報共有しながら支援の質の向上に努めています。
			91%	9%	0%	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11	0	0	6ヶ月毎のモニタリング会議にて保護者と情報共有を図り、ニーズを汲み取れるよう心掛けています。また、計画を作成する際は、事前の聞き取りや意向確認用紙の配布等で意向を伺うようにしています。
			100%	0%	0%	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	1	0	見通しを持って活動に取り組めるよう、ホワイトボードに絵や写真を貼り、活動内容等が視覚からの情報で分かりやすく伝わるように配慮しています。また、障がい特性に応じて、視覚カード等のコミュニケーション支援ツールも用いています。
			91%	9%	0%	
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	2	0	計画書作成にあたり、①健康・生活、②運動・感覚、③認知・行動、④言語・コミュニケーション、⑤人間関係・社会性の5領域を含めた総合的な支援及び保護者ニーズの把握、関係機関等との連携を含め、子ども達の状態に合わせた支援が行えるよう配慮しています。
			82%	18%	0%	
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	2	0	一人ひとりの成長に沿った計画を立て、支援内容について職員間で情報共有しています。また、保護者からの相談や支援の中で新たな課題が生じた際は、支援内容を見直し、課題をクリアできるよう支援しています。
			82%	18%	0%	
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	1	0	活動予定表を立てる際は、職員同士で様々なアイデアを出し合っ検討しています。
			91%	9%	0%	
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	0	0	ご家族やお友達のかかわりの中で「愛されること、大切にされること」を感じ、心の安定と成長を促しながら「できた！」の喜びを多く体験できるようサポートしています。運動、学習、生活、遊育、制作等、子どもの発達段階に応じた内容を提供するとともに、集団や個別での活動、季節を感じられる活動、静と動の活動等、全体のバランスを考えながら決めています。
		100%	0%	0%		
⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10	1	0	個別と集団を適宜組み合わせることで活動に取り組んでおり、個別支援計画にも盛り込んでいます。	
		91%	9%	0%		
⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	3	0	支援前に職員間で打ち合わせをしながら準備をしたり、動きを確認しています。また、気付いた点等については、ノートに記載して情報共有しています。	
		73%	27%	0%		
⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	4	0	終了後に打ち合わせの時間を設けるのは難しいが、ノートによる伝達や翌日のミーティングにて、支援の振り返りや気付いた点等を情報共有しています。	
		64%	36%	0%		
⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	0	0	日々の活動内容や児童の様子等、滞滞なく記録するようにしています。	
		100%	0%	0%		
⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11	0	0	6ヶ月毎のモニタリング会議にて保護者及び各関係機関と情報共有を図り、支援計画の進捗状況や見直し等について検討しています。	
		100%	0%	0%		

関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	1	0	児童発達支援管理責任者が出席しています。
		91%	9%	0%	
	㉑ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	2	0	こども福祉課や健康増進課等と連携を図っています。
		82%	18%	0%	
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の住宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	3	2	看護師がいないため、医療的ケア児の受入れは行っていません。
		55%	27%	18%	
	㉓ 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	5	2	看護師がいないため、医療的ケア児の受入れは行っていません。
		36%	45%	18%	
	㉔ 保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	1	0	ケア会議やモニタリング会議に出席する等して、情報共有と相互理解を図っています。
		91%	9%	0%	
㉕ 小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	2	0	ケア会議やモニタリング会議に出席する等して、情報共有と相互理解を図っています。	
	82%	18%	0%		
㉖ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	4	1	専門機関による研修等の連携はないが、児童発達支援センターの相談員と連絡を取り合いながら情報共有しています。	
	55%	36%	9%		
㉗ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	4	4	交流する機会は特に設けてはいないが、事業所と併用している児童は幼保等で交流しています。	
	27%	36%	36%		
㉘ (自立支援)協議会子ども支援部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	11	0	0	各部会に定期的に参加しています。また、情報については記録を閲覧し、全職員が周知できるようにしています。	
	100%	0%	0%		
㉙ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	0	0	日々の送迎や連絡帳を通じて、保護者と情報共有を図ることができています。利用状況やその他課題等について共有しながら、一人ひとりの支援につなげています。	
	100%	0%	0%		
㉚ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	2	2	ペアレント・トレーニングは実施していないが、ご家族参加型の活動の場を設け、保護者からの相談に対応できるよう配慮しています。	
	64%	18%	18%		
保護者への説明責任等	㉛ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	1	0	契約時に利用契約書、重要事項説明書、個人情報に係る提供同意書等の説明を行っています。また、職員の配置変更等があれば都度書面にてお伝えしています。
		91%	9%	0%	
	㉜ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	2	0	同意書にて同意をいただいています。
		82%	18%	0%	
	㉝ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	2	0	個別での相談事や悩み等について電話や連絡帳を通して伝えていただき、対応しています。また、必要に応じてモニタリング会議にて助言させていただくこともあります。
		82%	18%	0%	
	㉞ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	4	2	保護者会等はないが、ご家族参加型の活動の場を設け、保護者同士の交流が図れるよう工夫しています。
		45%	36%	18%	
	㉟ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	0	0	相談事や悩み等があった際は児童発達支援管理責任者へ報告があり、できる限り迅速に回答できるように心掛けています。
		100%	0%	0%	
㊱ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	0	0	毎月の活動予定表や定期発行にて情報を発信しています。また、法人ホームページにも適宜行事の記事をアップする等、広報に努めています。	
	100%	0%	0%		
㊲ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	11	0	0	個人情報の取り扱いについては、細心の注意を払っています。広報誌等への写真掲載の有無に関しては、利用契約時に個人情報提供同意書をいただくようにしています。	
	100%	0%	0%		
㊳ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	0	0	子ども達には視覚的支援を中心に個別での情報伝達を行っています。また、保護者には活動の様子をご理解いただけるよう、連絡帳への活動内容の記載や写真を貼付する等させていただいています。	
	100%	0%	0%		
㊴ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	0	2	なおり園祭で地域の方々に来園していただく機会を設けています。	
	82%	0%	18%		

非常時等の対応	④⑩ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	2	0	法人内の各種マニュアルに沿って訓練を実施しています。重要事項説明書にも実施内容等を謳っていますが、保護者へのマニュアル周知までできていないため、来年度には周知できればと考えています。職員には周知済みです。
		82%	18%	0%	
	④⑪ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	0	0	非常災害等の発生に備え、定期的に訓練(避難誘導、防犯、風水害)を実施しています。
		100%	0%	0%	
	④⑫ 事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	9	2	0	フェイスシートやサポートシートにて、病歴や服薬の有無、アレルギー等の情報の確認を事前に行っています。
		82%	18%	0%	
	④⑬ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	2	2	現在、食物アレルギーのある子どもはいませんが、アレルギーの確認は契約時に確実にしています。
		64%	18%	18%	
	④⑭ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	1	0	ヒヤリハット事例集に綴じており、関係職員が共有できるようにしています。
		91%	9%	0%	
	④⑮ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	1	0	虐待防止の研修を行っています。また、サービスマナースピーチやサービス向上グループワークにも取り組み、情報共有しながら支援の質の向上に努めています。
		91%	9%	0%	
④⑯ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	11	0	0	身体拘束が必要な場合は、ご家族に説明し、年1回同意書(緊急やむを得ない身体拘束に関する説明と同意書)をいただいています。実施状況については身体拘束状況表にて記録を残し、年2回の行動制限解除検討委員会にて必要性を話し合っています。	
	100%	0%	0%		